

専門演習I(ソーシャルワーク論) / 田村 綾子教授



地域社会と連携しながら、生活上の福祉的課題を追究する

貧困や孤独死、障害者の就労、一人親家庭の生活支援など、生活上のさまざまな福祉的課題を各自が追究するとともに、ゼミ全体で議論します。福祉や心理にまつわる多様なテーマを扱う中で、一人ひとりが個人の支援を考えるとともに、社会変革のためのアプローチ法を身につけ、実生活や卒業後の進路に役立てられるようになることが目的です。本学教員が会長を務める上市市地域福祉推進協議会で、実際に学生委員として参加し、地域社会と連携した学びができることも、本ゼミの特徴です。



共通の課題をもとに資料を読み込み、それにまつわる考察の作成と協議をします。



学生各自が関心のあるテーマについて調べ、テーマに沿って発表と意見交換をします。



卒業研究に向けて、自身のテーマ設定と調査・研究を行い、論文作成に挑みます。

卒業論文テーマ例

- ▶ 重度身体障害者の大学進学と学生生活について
～筋ジストロフィー患者の観点から～
- ▶ 保育所の待機児童解消を目指した空き教室の使用
～町田市の現状を東京都の先駆的事例を参考に検討する～
- ▶ 大学生の小学生時代に受けた
しつけ経験からみた攻撃性と共感性の関係
- ▶ 筋肉トレーニング(スクワット運動)に対する音楽の効果
～疲労感・楽しさ・時間感覚の視点から～
- ▶ 課外活動がコミュニケーションスキルに及ぼす影響について
- ▶ 中高年期男性の老後生活に関する一考察—ロータリアンを中心に
- ▶ 繰り返す環境問題—豊かさ引き換えに—
- ▶ 醜なるものの中に美を感じた芸術家
—ケーテ・コルヴィッツの場合—「神を演じる」について
- ▶ わたしのリハビリの旅
- ▶ 貧しい国で生きる人々—貧困問題—
- ▶ 日本における子どもに関する現状と福祉的課題
- ▶ 都市別、援助行動の生起
- ▶ 記憶時の気分による単純接触効果の違い～音楽を用いた検討～
- ▶ ボランティア実施前後の学生の心の変化とボランティアから受ける影響
- ▶ 友人関係におけるLINEと携帯メールの使用体験の相違・
対人関係希薄化の視点から
- ▶ 中国における箱庭療法の実際—日本と比較して